

平成30年度 北海道小学校長会 第1回理事研修会 2018.5.15 情報部年間活動計画



情報部の年間活動計画についてご説明する。

情報部では、総会で承認された道小の活動方針を踏まえ、各地区校長会や会員の連携と対外的な広報活動を推進し、会員の連帯意識の高揚と運営組織の強化、及び活動の効率化に努めて参ります。そのために、

- 教育情勢や、道小の機関会議での審議・決定や活動状況についてできるだけ広く、しかも迅速にお知らせする。
- 各地区校長会や会員の活動、意見等についての情報交換を活発に行う。
- 北海道中学校長会や他の教育関係団体と、一層、連携協力し教育世論を喚起することなどに努めて参ります。

次に、具体的な業務内容を5点お話する。

1点目は、会報『教育北海道』の発行についてである。

『教育北海道』は年2回、今年度は7月と2月に発行する。原稿の執筆ローテーションに即して依頼するので、速やかに執筆者を決めていただくようお願いする。

2点目は『道小情報』についてである。

理事研修会の協議内容については、道小ホームページ上で掲載、報告している。また、『道小情報』PDF版を各地区広報・情報担当者への配信し、担当者から各地区の会員の皆様のお手もとに届くように協力もお願いする予定である。理事の皆様にもご承知願いたい。

3点目は、『道小情報・道中だより』号外の発行についてである。

道教委への文教施策・予算策定に関する要望や文教施策懇談会・各課懇談会等の様子を掲載する。今年度は道中が担当となる。

4点目は、「道小ホームページ」の一層の充実についてである。

函館市で開催する全連小研究協議大会北海道大会の情報、道小の総会や理事研修会での様々な情報を掲載していく。不定期であるが、頻繁に更新されるので、是非1日1回はHPをご覧願いたい。

今年度で9年目となる「地区校長会活性化支援事業」については、既に昨年度までの分をホームページに掲載してある。今後も各地区の交流につなげていきたいと思っている。

5点目は、全連小の『教育研究シリーズ』や『小学校時報』への原稿提供についてである。原稿を依頼された方は、よろしく願います。

平成30年度 情報部年間活動計画

1 活動方針

北海道小学校長会の活動方針を踏まえ、地区校長会並びに会員の緊密な連携と対外的な広報活動を推進し会員の連帯意識の高揚と運営組織の強化及び活動の効率化に努める。

- (1) 教育情勢や道小の機関会議や審議・決定及び活動状況を広く知らせる。
- (2) 地区校長会並びに会員の活動・意見等についての情報交換を密にする。
- (3) 北海道中学校長会並びに他の教育関係団体との協力を図り、教育世論の喚起に努める。

2 業務内容

各種教育情報の収集とその提供・交流に関すること

- (1) 道小の活動情報の提供に関すること
- (2) 教育情報の提供とその記録化に関すること
- (3) ホームページによる情報提供と交流に関すること

会報等の編集・発行に関すること

- (1) 会員相互の意見交換・情報交流に関すること
- (2) 会報、広報の編集・発行に関すること
- (3) 全連小広報誌「小学校時報」「特色ある研究校便覧」「教育研究シリーズ」等に関すること

3 業務推進計画（具体的な内容）

(1) 会報『教育北海道』の発行

○各号の編集担当者を決めて、原稿の割り振り・校正の中心的な仕事を行う。

- ①目次の作成
- ②校正作業の推進（事務局長及び部員全員が、分担しながら校正）
- ③編集後記の作成（各号担当者）
- ④印刷業者との打ち合わせ

特に、留意すべき点は、原稿執筆者の学校名・氏名の確認を。

○A4版印刷

○年間2回発行 2018年7月（No.322）、2019年2月（No.323）

No.322 原稿締切 6月 1日 発行 7月中旬 担当（西村）

No.323 原稿締切 12月7日 発行 3月上旬 担当（四戸）

※No.324 原稿締切 発行は平成2019年7月中旬 執筆に依頼は、2018年度中に行う

○7月号 特集I→総会研修会の掲載内容の確認（例年、これを基本とする。祝辞関係が重要）

<ul style="list-style-type: none">・会長挨拶・感謝状並びに記念品贈呈・謝辞（前年度の旧役員1名に依頼）	<ul style="list-style-type: none">・祝辞 北海道知事（メッセージで文書提出） 北海道教育委員会 教育長 北海道都市教育委員会連絡教育長会会長 北海道PTA連合会・講話 道教委予定
--	---

○詳しい掲載内容及び地区執筆割当は、P6からの会報「教育北海道」執筆割当並びに編集計画を参照

(2) 『道小情報』の発行

○理事研修会の報告（電子版で配信）…年間5回 道小HPへアップ

・6ページ程度（速報性、必要性を吟味し内容を選択）

担当：第1回（四戸）第2回（石川）第3回（西村）第4回（石川）第5回（西村）

○特別号の発行（全道会長研修会の報告 紙媒体で発行） 担当：（小笠原）

・全道会長研修会の内容・退職校長の動向調査・実態調査等

*テープ起こし等は対策部と協力して行う。 *印刷業者に発注（展文社印刷）

(3) 『道小情報・道中だより』号外の発行 窓口担当 (小笠原) 30年度は道中が担当

- ・道教委への文教施策・予算策定の要望 (7月末発行)
- ・文教施策懇談会, 各課懇談会の回答概要報告。(12月末日発行)
- ・要望書と回答の部分に分冊にして早期に発行し, 地区経営研に役立つようにする。
- ＊印刷業者に発注 (佐藤印刷)
- ＊道中, 道教頭会と緊密に連携を図りながら, 計画・編集・校正等の作業を進める。

(4) 道小ホームページの充実 <http://www.dousho.jp/> 担当 (小笠原・四戸)

- ①総会研修会・理事研修会等, 諸会議における会長挨拶
- ②全連小北海道大会 (函館市) 開催、運営に関する要項等
- ③全連小北海道大会 (函館市) の分科会関係資料
- ④地区校長会だより (全地区内容の変更)
- ⑤地区研究活動報告 (研修部)
- ⑥地区別経営研修会報告 (経営部)
- ⑦地区校長会活性化支援事業の掲載 (会報「教育北海道」にも紙ベースで掲載)
- ⑧学校改善・授業改善ツール等
- ⑨その他・教育情報・道小トピックス・機関紙原稿書式・各部からのアンケート及び報告書等

(5) 地区校長会活性化支援事業 担当 (小笠原)

- ・地区校長会活性化支援事業「実践」—各地区の優れた実践事例を募集しHPと会報に掲載する。(1地区1万円×20地区)
- ・海外教育事情視察報告は隔年で掲載する。30年度は実施予定なし

(6) 全連小広報との連携 担当 (小笠原) 全連小広報担当者会議後 詳細報告

◇『小学校時報』等への原稿提供 【30年度の割当】

月	原稿締切	地区	執筆内容	学校名・担当部署	執筆者(敬称略)
6	4月20日		全連小北海道大会(函館市)について道小の動き	道小事務局	事務局長 研修部
		旭川	特色ある学校経営	旭川市雨紛小学校	横山 市子
8	6月29日	札幌	会員の声(働き方改革)	真駒内桜山小学校	平澤 淳志
10	9月1日	小樽	会員の声(不登校・いじめ)		
12	11月1日		全連小北海道大会関係	道小事務局	道小幹事
2	12月20日	宗谷	会員の声 (連秋田研究会寄稿)		
3	2月1日		各地区研究大会の概況	道小事務局	

※他に全連小広報担当者から、直接、道小会員に執筆依頼がある場合もあります。

◇全連小編 教育研究シリーズ

「教育研究シリーズ第56集」(平成30年5月発行予定) 既に原稿は提出済み

執筆者: 日高町 富川小 中村 等 校長

※小学校時報3月号(N0.799) P52~53に 掲載論文一覧があります。

「教育研究シリーズ第57集」(平成31年5月発行)

第三章 これからの経営課題に挑む学校経営

事例④「学校規模の縮小化に対する取組」

執筆者 奥崎 敏之(函館市 千代田小)

◇平成32・33年度版「全国特色ある研究校便覧」 今年度は動きなし

※例年, 小樽・旭川・渡島・宗谷・オホーツク・札幌の各ブロックから1校ずつ, 計6校を推薦する。

◇全連小ホームページに掲載する「特色ある研究校紹介」(優れたHPを有する学校の紹介)

※要請があれば即時対応する。